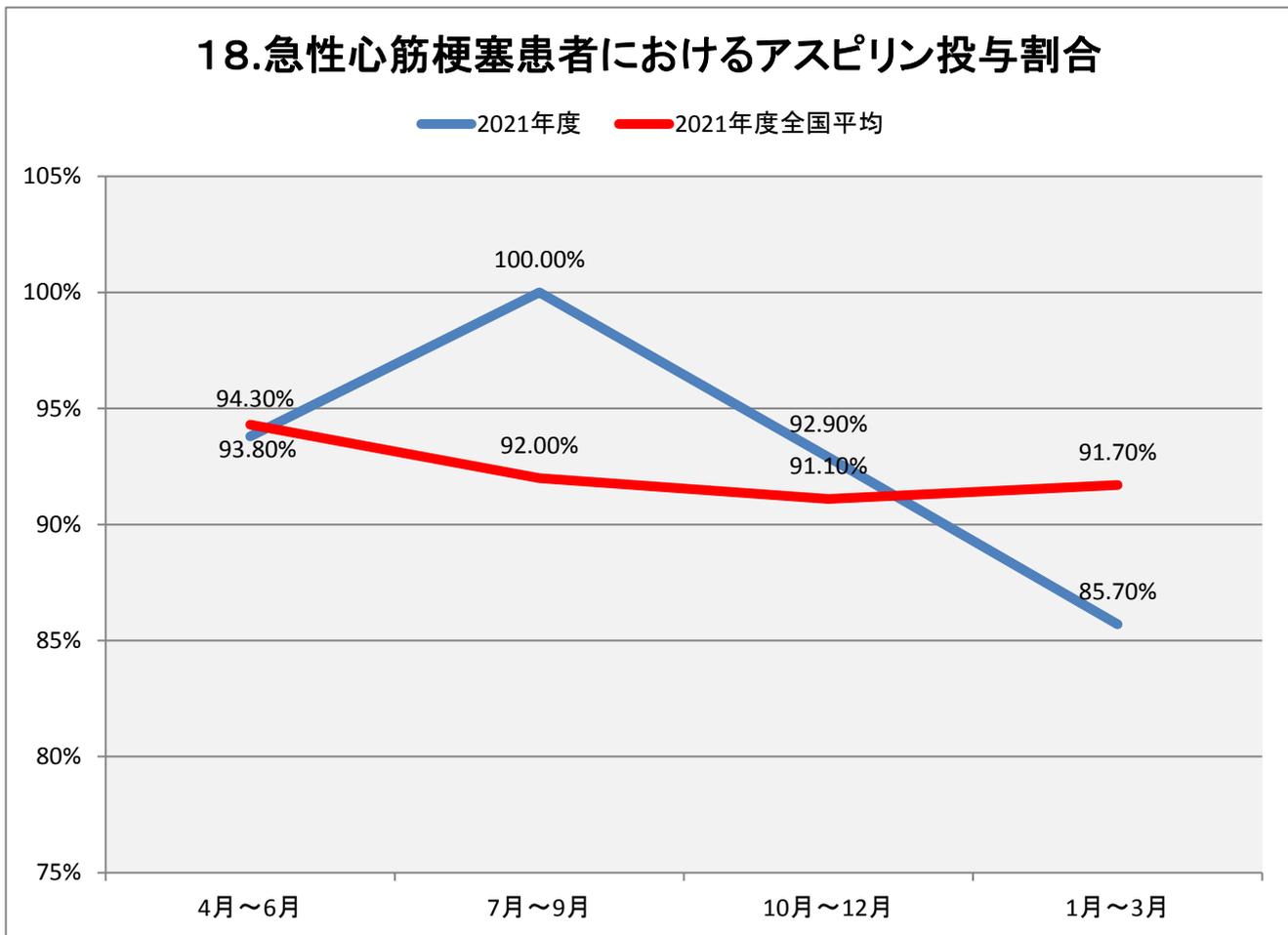


18.急性心筋梗塞患者におけるアスピリン投与割合

(1) 調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2021年度	93.80%	100.00%	92.90%	85.70%
2021年度全国平均	94.30%	92.00%	91.10%	91.70%

- (2) 指標の説明
- 急性心筋梗塞は通常発症後2～3ヶ月以内に安定化し、大多数の患者は安定狭心症または安定した無症候性冠動脈疾患の経過を辿ります。心筋梗塞発症後の長期予後を改善する目的で抗血小板薬、β-遮断薬、ACE阻害薬あるいはアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)、スタチンなどの投与が推奨されています。
2021年度から採用された項目です。

- (3) 定義
- 分子: 分母のうち、アスピリンもしくはクロピドグレルが投与された患者数
分母: 急性心筋梗塞で入院した患者数